

今冬の大雪対策に関する緊急要望

今冬は、昨年12月からの強い冬型の気圧配置や寒気の流れ込みにより、北日本から西日本の日本海側を中心に断続的な大雪が続いている。また、一部地域においては、すでに平年を大きく超える積雪を記録している。

豪雪地帯町村においては、こうした状況に対処するため、地域住民の協力の下、道路の除雪や公共施設、高齢者世帯の雪下ろしなどに懸命に取り組んでいる。

しかしながら、突発的かつ局地的な大雪により、幹線道路での車両の立ち往生や倒木による集落の孤立、雪害による停電などのライフラインの寸断等が発生しており、地域住民の生活や経済活動に深刻な状況を招いている。

また、人口減少や高齢化の進行により雪処理の担い手が不足するとともに、依然として除雪作業中の事故等が発生している。

このような状況下において、今後の更なる大雪による被害を未然に防ぐため、除雪体制などの連携支援等を強化するとともに、除排雪関連経費に対する特別交付税の重点配分や早期交付、大雪被害に対する各種支援を講じ、地域住民の安全・安心な日常生活を確保するよう強く要請する。

令和3年1月15日

全国豪雪地帯町村議会議長会